

●新ルルAゴールド DX α

●新ルルAゴールドs

【使用上の注意】

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないで下さい。
 - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人

- (3) 12歳未満の小児
▶新ルルAゴールドs

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないで下さい。

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)、胃腸鎮痛鎮痙薬、トラネキサム酸を含有する内服薬*

※新ルルAゴールドDX α

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい。(眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがあります)

4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けて下さい。

▶新ルルAゴールドs

【解 説】

1.
 - (1) 共通事項解説[1]参照
 - (2) アセトアミノフェンにより、アスピリンぜんそくが誘発されるおそれがあります。かぜ薬や解熱鎮痛薬によるぜんそく発作の既往歴のある人は服用しないよう注意が必要です。
アスピリンぜんそくは、非ステロイド性抗炎症薬(NSAID_s)の服用により誘発され、ぜんそく症状の発症・増悪、時には致命的な重症発作を起こし、不幸な転帰をたどることがあるため注意が必要です。その発現率は、成人ぜんそくの約10%に該当するといわれています。
 - (3) 本剤には12歳未満の小児の用法はありませんが、注意喚起するために記載しています。
12歳未満の小児は呼吸抑制の感受性が高いため、ジヒドロコデインリン酸塩により呼吸抑制を起こすおそれがあります。
2. 共通事項解説[2]参照
3. 抗ヒスタミン剤(クレマスチンフマル酸塩)、ジヒドロコデインリン酸塩、デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物は、眠気等を生じる可能性があるため、重大な事故につながるおそれがあります。
また、ペラドンナ総アルカロイドには、目のかすみ、異常なまぶしさを起こす作用があることから、注意が必要です。
4. コデインの代謝能が著しく高いタイプの遺伝子を持つ授乳婦がコデイン含有製剤を服用した場合、コデイン活性代謝物であるモルヒネが高濃度に母乳へ移行することにより、乳児でモルヒネ過量摂取のリスクが高まる可能性があります〔乳児の過度の傾眠、哺乳困難、呼吸困難の報告があります〕。
ジヒドロコデインリン酸塩含有製剤に関しても、類似の作用が考えられるため、注意が必要です。

●新ルルAゴールド DXα

●新ルルAゴールドs

【使用上の注意】

5. 服用前後は飲酒しないで下さい。

6. 長期連用しないで下さい。

7. 過量服用しないで下さい。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人

(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人

(3) 授乳中の人

▶新ルルAゴールドDXα

(4) 高齢者

(5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人

(6) 次の症状のある人

高熱、排尿困難

【解 説】

5. 一般的にアルコールは薬の作用や体内動態に影響を与えることが多いことが知られています。特に解熱鎮痛成分等はアルコールによって吸収や代謝を促進されることがあり、副作用や毒性の増強があらわれる危険性があるので、注意が必要です。

6. 共通事項解説〔3〕参照

7. ジヒドロコデインリン酸塩、メチルエフェドリン塩酸塩、デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物は指定濫用防止医薬品です。

過量服用しないで下さい。

濫用した場合に中枢神経系に興奮もしくは抑制または幻覚を生ずるおそれがあり、濫用防止を図る必要がある医薬品を「指定濫用防止医薬品」として厚生労働大臣が指定しました。

1.

(1) 共通事項解説〔4〕参照

(2) 共通事項解説〔5〕参照

(3) クレマスチンフマル酸塩、dl-メチルエフェドリン塩酸塩は母乳に移行することが知られています。乳児への具体的な有害反応は不明で、安全性は確立されていないため、服用前に専門家に相談して服薬指導等の指示を受ける必要があります。

(4) 共通事項解説〔6〕参照

(5) 共通事項解説〔7〕参照

(6) 記載されている症状のある人は、下記のような理由で服用前に相談が必要です。

● 高熱

かぜ以外のウイルス性の感染症やその他の重篤な疾病も考えられます。

● 排尿困難

抗ヒスタミン剤(クレマスチンフマル酸塩)、ベラドンナ総アルカロイドの抗コリン作用により、膀胱の緊張が減少することがあるため、症状が悪化し、さらに尿が出にくくなるおそれがあります。また、前立腺肥大がある場合には、尿閉があらわれるおそれがあります。

●新ルルAゴールド DX α

●新ルルAゴールドs

【使用上の注意】

(7) 次の診断を受けた人

甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障、血栓のある人(脳血栓、心筋梗塞、血栓性静脈炎等)^{*1}、血栓症を起こすおそれのある人^{*1}、呼吸機能障害^{*2}、閉塞性睡眠時無呼吸症候群^{*2}、肥満症^{*2}

※1 新ルルAゴールドDX α

※2 新ルルAゴールドs

【解 説】

(7) 記載されている疾患の診断を受けた人は、本剤に配合されている成分により、病状が悪化するおそれがありますので、服用前に相談が必要です。

● 甲状腺機能障害、高血圧

dL-メチルエフェドリン塩酸塩の交感神経刺激作用により、血圧を上昇させ、心拍数を増加させるため、甲状腺機能亢進症(動悸、発汗、手のふるえ、いらいら等)の症状、高血圧を悪化させるおそれがあります。

● 糖尿病

dL-メチルエフェドリン塩酸塩の交感神経刺激作用により、肝臓のグリコーゲンが分解され血糖値が上昇し、悪化するおそれがあります。

● 心臓病

dL-メチルエフェドリン塩酸塩の交感神経刺激作用、ベラドンナ総アルカロイドの抗コリン作用により、血圧を上昇させ、心拍数を増加させるため、心臓に負担がかかり、心臓病を悪化させるおそれがあります。

また、アセトアミノフェンには腎臓のプロスタグランジン生合成抑制作用があるため、腎血流量の低下、浮腫、循環体液量の増加が起こって心臓の仕事量が増加し、心臓病を悪化させるおそれもあります。

● 肝臓病

アセトアミノフェン、クレマスチンフマル酸塩による薬剤性肝障害が報告されています。肝臓に障害がある人では症状が悪化するおそれがあります。

● 腎臓病

アセトアミノフェンには腎臓のプロスタグランジン生合成抑制作用があるため、腎血流量の低下、浮腫、循環体液量の増加が起こり腎臓病を更に悪化させるおそれがあります。

● 胃・十二指腸潰瘍

アセトアミノフェンが消化器粘膜保護作用のあるプロスタグランジン生合成を抑制するため、胃の血流量が減少し、胃・十二指腸潰瘍を悪化させるおそれがあります。

● 緑内障

抗ヒスタミン剤(クレマスチンフマル酸塩)、ベラドンナ総アルカロイドの抗コリン作用により、房水排水路が狭くなり、眼圧が上昇し、緑内障を悪化させるおそれがあります。

● 血栓のある人(脳血栓、心筋梗塞、血栓性静脈炎等)、血栓症を起こすおそれのある人

トラネキサム酸の止血作用は、プラスミンのフィブリン分解作用を阻害し、血栓の溶解を抑制することがあるので、注意が必要です。

● 呼吸機能障害

呼吸器に障害のある人では、ジヒドロコデインリン酸塩が呼吸中枢に作用し、呼吸抑制が起こるおそれがあります。

●新ルルAゴールド DXα

●新ルルAゴールドs

【使用上の注意】

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい、頭痛、興奮、けいれん
呼吸器	息切れ*、息苦しさ*
泌尿器	排尿困難
その他	顔のほてり、異常なまぶしさ、過度の体温低下

※新ルルAゴールドDXα

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

【解 説】

- 閉塞性睡眠時無呼吸症候群
上気道の物理的狭窄により呼吸が止まるため、ジヒドロコデインリン酸塩により呼吸抑制が起こるおそれがあります。
 - 肥満症
肥満により、上気道狭窄・肺機能低下がおきます。さらに睡眠中は筋肉が弛緩し、舌根が上気道に落ち込むなどして、呼吸が止まる閉塞性睡眠時無呼吸症候群を伴うため、ジヒドロコデインリン酸塩により呼吸抑制が起こるおそれがあります。
2. 例示したような副作用症状が起こる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、症状の増悪や重篤な副作用への移行を未然に防ぐため、直ちに服用を中止し、服用している薬剤の成分等がわかる添付文書を持参の上、専門家に相談する必要があります。

下記のような重篤な症状があらわれたら、直ちに服用を中止し、医師の診療を受ける必要があります。

- ショック(アナフィラキシー)
重篤な症状の解説[1]参照
- 皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症
重篤な症状の解説[2][3][4]参照
- 薬剤性過敏症症候群
アセトアミノフェンにより起こることがあります。重篤な副作用の解説[19]参照
- 肝機能障害
アセトアミノフェン、クレマスチンフマル酸塩により起こることがあります。重篤な症状の解説[5]参照

●新ルルAゴールド DXα

●新ルルAゴールドs

【使用上の注意】

腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
呼吸抑制*	息切れ、息苦しさ等があらわれる。

※新ルルAゴールドs

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

便秘、口のかわき、眠気、目のかすみ

4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

【用法・用量に関連する注意】

1. 用法・用量を厳守して下さい。
2. 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。

【解 説】

- 腎障害
アセトアミノフェンにより起こることがあります。重篤な症状の解説〔6〕参照
- 間質性肺炎
重篤な症状の解説〔8〕参照
- ぜんそく
アセトアミノフェンにより起こることがあります。重篤な症状の解説〔10〕参照
- 呼吸抑制
ジヒドロコデインリン酸塩により起こることがあります。重篤な症状の解説〔16〕参照

3. 一過性の軽い副作用としてあらわれることがあります。直ちに服用を中止する必要はありませんが、症状が持続したり増強する場合は、服用を中止して専門家に相談する必要があります。

- 便秘
ジヒドロコデインリン酸塩、ベラドンナ総アルカロイドにより、腸管の蠕動運動が抑制されてあらわれることがあります。
- 口のかわき
抗ヒスタミン剤(クレマスチンフマル酸塩)、ベラドンナ総アルカロイドの抗コリン作用により、唾液の分泌が抑制されてあらわれることがあります。
- 眠気
抗ヒスタミン剤(クレマスチンフマル酸塩)、ジヒドロコデインリン酸塩、デキストロメトर्फェン臭化水素酸塩水和物によりあらわれることがあります。
- 目のかすみ
ベラドンナ総アルカロイドの副交感神経遮断作用により、散瞳が誘引されてあらわれることがあります。

4. 普通のかぜであれば5～6回の服用により症状の改善がみられますが、症状がよくなる時は、他の疾患や合併症も考えられるので、服用を中止し、専門家に相談する必要があります。

1. 共通事項解説〔8〕参照
2. 共通事項解説〔9〕参照

●新ルルAゴールド DXα

●新ルルAゴールドs

【使用上の注意】	【解 説】
【保管及び取扱い上の注意】	
1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に〔密栓して〕保管して下さい。	1. 共通事項解説〔11〕参照
2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。	2. 共通事項解説〔12〕参照
3. 他の容器に入れ替えないで下さい。（誤用の原因になったり品質が変わります）	3. 共通事項解説〔13〕参照
4. ぬれた手で取り扱わないで下さい。水分が錠剤につくと、表面が一部溶けて、変色又は色むらを生じることがあります。また、ぬれた錠剤をビンに戻すと他の錠剤にも影響を与えますので、戻さないで下さい。	4. 共通事項解説〔14〕参照
5. ビンの中の詰め物は輸送中の錠剤破損防止用ですので、開封後は捨てて下さい。	5. 共通事項解説〔15〕参照
6. 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。また、ビンを開封した後は12カ月以内に使用して下さい。	6. 共通事項解説〔17〕参照 一度開封した製品は吸湿等により徐々に劣化するので、品質保持の点から12カ月以内に服用する必要があります。
7. 箱の「開封年月日」記入欄に、ビンを開封した日付を記入して下さい。	7. 服用可能な期間を確認していただくために、最初に開封した日付を記入する欄を外箱に設けています。